



HEIWA PAPER

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成30年2月9日

上場会社名 平和紙業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 高木 修

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,040	2.5	115	18.5	192	3.0	125	1.7
29年3月期第3四半期	14,398	4.6	141	19.3	198	15.8	123	13.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 239百万円 (14.9%) 29年3月期第3四半期 281百万円 (16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	12.93	
29年3月期第3四半期	12.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,574	8,554	48.7	880.76
29年3月期	17,084	8,475	49.6	859.36

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,554百万円 29年3月期 8,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,078	2.6	228	14.5	295	10.9	189	9.7	19.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,116,917 株	29年3月期	10,116,917 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	404,099 株	29年3月期	254,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	9,735,182 株	29年3月期3Q	9,862,863 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復と好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続く中、設備投資が増加基調を維持するなど、内需と外需のバランスがとれた形で緩やかに回復しつつあります。

紙パルプ業界におきましては、段ボール原紙や紙器用白板紙など板紙の国内出荷量が、食品関連需要等の増加によって前年同期実績を上回りました。一方で、印刷用紙においては堅調な保険・金融関連需要に加え、通信関連・通販カタログ・高級不動産向け需要等で動きがあったものの、洋紙全体では前年同期実績を下回り、紙・板紙合計の国内出荷量も前年同期実績を下回りました。

このような経済状況のもとで、当社グループは第9次3ヶ年計画の最終年度を迎え、安定的に収益をあげられる高収益基盤の確保を、最重要課題として取り組んでまいりました。しかしながら、特殊紙関連分野の需要が伸び悩んだことや、紙媒体をめぐる需要構造の変化によるマイナス影響等により、当社の品目別売上高は技術紙が前年同期実績をわずかに上回ったものの、主力としているファンシーペーパー・ファインボード・高級印刷紙の特殊紙3品目を含む他の品目で前年同期実績を上回ることができませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高140億40百万円（前年同四半期比2.5%減）、経常利益1億92百万円（前年同四半期比3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	3,267	24.2	3,239	24.5	△0.9
ファインボード	1,645	12.2	1,528	11.6	△7.1
高級印刷紙	3,146	23.4	3,124	23.7	△0.7
ベーシックペーパー	3,719	27.6	3,646	27.6	△2.0
技術紙	1,475	10.9	1,476	11.2	0.1
その他	228	1.7	188	1.4	△17.5
合計	13,482	100.0	13,202	100.0	△2.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持ち装飾性の高いファンシーペーパーは、デザイン企画部門への継続したPR活動や各種商品展示会の開催の結果、書籍向けが若干回復、また東アジア向けの輸出も好調に推移しました。しかしながらパッケージ用途や小口商業印刷用途が低調に推移し、売上高は32億39百万円、前年同四半期比0.9%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの高紙厚品(板紙)で、高級商品のパッケージ、書籍表紙、各種販促物に使用されるファインボードは、パッケージ需要の伸びに一服感があり、各種販促物や音楽関連商品の動きも低調に推移したため、売上高は15億28百万円、前年同四半期比7.1%の減少となりました。

[高級印刷紙]

ハイグレードな印刷用途、名刺、カード、書籍類に使われる高級印刷紙は、書籍用途や封筒名刺等の紙製品が堅調に推移しましたが、高級パンフレット、カレンダーや冊子等の商業印刷物の販売量が伸び悩み、売上高は31億24百万円、前年同四半期比0.7%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、コート紙、色上質紙、包装用紙、各種板紙等のベーシックペーパーは、書籍向けや医療品・化粧品パッケージ用途等が堅調に推移しましたが、封筒等の紙製品や商業印刷物用途、海外向け販売量の減少が影響し、売上高は36億46百万円、前年同四半期比2.0%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にない特殊機能を付与した技術紙は、耐水撥水性機能紙及び各種製造用原紙等が需要変動の影響により低調に推移したものの、各種工業品製造用工程紙や合成紙の販売量が増加し、売上高は14億76百万円、前年同四半期比0.1%の増加となりました。

[その他]

ペーパータオル等家庭紙の販売量は若干増加しましたが、製紙関連資材や各種紙加工製品の販売量が低下し、売上高は1億88百万円、前年同四半期比17.5%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億90百万円増加して、175億74百万円となりました。主な要因は、有価証券1億円が減少いたしましたが、受取手形及び売掛金1億63百万円、電子記録債権3億25百万円、投資その他の資産1億13百万円が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて4億11百万円増加して、90億19百万円となりました。主な要因は、未払法人税等47百万円が減少いたしましたが、支払手形及び買掛金4億47百万円が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて78百万円増加して、85億54百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得により63百万円が減少いたしましたが、利益剰余金28百万円、その他有価証券評価差額金1億13百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

平成30年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

売上高	20,078百万円 (前期比 2.6%増収)
営業利益	228百万円 (同 14.5%増益)
経常利益	295百万円 (同 10.9%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	189百万円 (同 9.7%増益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,811,664	2,789,030
受取手形及び売掛金	5,667,728	5,831,562
電子記録債権	976,457	1,302,168
有価証券	100,000	—
商品	3,676,763	3,678,038
貯蔵品	66,356	59,441
その他	177,003	213,895
貸倒引当金	△6,387	△6,858
流動資産合計	13,469,584	13,867,277
固定資産		
有形固定資産	838,418	822,133
無形固定資産	25,501	20,644
投資その他の資産		
投資有価証券	2,332,738	2,507,694
その他	424,581	361,222
貸倒引当金	△6,244	△4,392
投資その他の資産合計	2,751,074	2,864,524
固定資産合計	3,614,993	3,707,301
資産合計	17,084,578	17,574,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,485,052	5,932,162
短期借入金	2,323,782	2,319,451
未払法人税等	56,106	8,419
賞与引当金	71,103	52,143
その他	208,748	203,533
流動負債合計	8,144,792	8,515,710
固定負債		
退職給付に係る負債	189,497	199,587
資産除去債務	63,468	64,468
その他	211,060	240,118
固定負債合計	464,027	504,174
負債合計	8,608,820	9,019,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,540,728	3,568,786
自己株式	△123,856	△186,856
株主資本合計	7,856,103	7,821,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	615,095	728,648
為替換算調整勘定	4,559	4,884
その他の包括利益累計額合計	619,654	733,532
純資産合計	8,475,758	8,554,693
負債純資産合計	17,084,578	17,574,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,398,327	14,040,292
売上原価	11,667,947	11,424,369
売上総利益	2,730,379	2,615,922
販売費及び一般管理費	2,588,538	2,500,315
営業利益	141,841	115,607
営業外収益		
受取利息	4,610	1,029
受取配当金	36,219	49,143
受取賃貸料	29,546	33,063
その他	6,962	7,233
営業外収益合計	77,340	90,469
営業外費用		
支払利息	5,798	5,461
賃貸用資産減価償却費	4,224	3,733
為替差損	7,880	1,269
その他	3,009	3,278
営業外費用合計	20,913	13,742
経常利益	198,268	192,333
特別損失		
固定資産除売却損	335	856
ゴルフ会員権売却損	—	825
特別損失合計	335	1,681
税金等調整前四半期純利益	197,932	190,652
法人税、住民税及び事業税	32,291	49,092
法人税等調整額	41,813	15,623
法人税等合計	74,105	64,716
四半期純利益	123,827	125,936
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,827	125,936

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	123,827	125,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,639	113,552
為替換算調整勘定	17,434	325
その他の包括利益合計	158,074	113,877
四半期包括利益	281,902	239,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,902	239,813

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。